

令和五年度「国語」出題意図等

※【出】は「出題意図」を、【解】は「解答又は解答例」を表す。

一

問一 【出】漢字および語彙の理解力と知識とを問う。読みから文脈にふさわしい語彙を選ぶことができるか、その語彙を適切に漢字で表記できるかどうかを評価する。

【解】1:墮落 2:奨励 3:自明視 4:促

問二 【出】文章の意味を理解しているかどうかを問う。

問三 【出】文章の読解において、筆者の考えを、前後の文脈を手掛かりにして推定する力を問う。

問四 【出】論の核心部分を文章中から抜き出すことができるかどうかを問う。

問五 【出】論全体を把握したうえで、筆者の意見を把握できているかどうかを問う。

二

問一 【出】筆者の論を正確に理解できているかどうかを問う。

問二 【出】筆者の論を踏まえたうえで、応用的な例を考えることができるかどうかを問う。

三

問一 【出】文語文法の基本的知識を問う。

【解】ア:けれ イ:あら

問二 【出】古典の基本的知識をふまえ、現代語訳できるかどうかを問う。

問三 【出】古典の基本的知識をふまえ、現代語訳できるかどうかを問う。

問四 【出】文章全体の内容を踏まえたうえで、文脈が理解できているかどうかを問う。

問五 【出】筆者の心情を正確に理解できるかどうかを問う。

四

問一 【出】基本的な漢文訓読の知識を問う。

【解】1:すなはち(すなわち) 2:ため 3:あに

問二 【出】人物の行為を正確に読解できるかどうかを問う。

問三 【出】口語訳の力を問う。

問四 ア【出】漢文の基本的な返り点の付け方に対する知識を問う。イ【出】文章全体を理解し、それを適切に説明する力を問う。

出典

一 鹿毛雅治『モチベーションの心理学』

二 フランス・ドルヌ+小林康夫『日本語の森を歩いて—フランス語から見た日本語学』

三 清水浜臣『泊沼筆話』

四 角田九華『続近世叢語』曾先之